

## 富裕層向け市場の拡大

- UAEの国民の平均年収は約2,600万円を超えるなど富裕層が多いことに加え、ドバイには総人口(400万人)を上回る観光客が来訪(年2,000万人)しており、消費者市場としての魅力が増大している。
- 中東全体での日本食への関心の高まりを背景に近年輸出が伸長しており、2024年の総輸出額は101億円(世界第19位、前年比15%増)で、5年前と比較して約3倍となっている。
- 品目別では、清涼飲料水(16億円、1位)、牛肉(10億円、2位)、ソース混合調味料(8億円、3位)、菓子(4億円、4位)、緑茶(4億円、6位)、ぶり(3億円、8位)など我が国輸出重点品目が多くを占め、本EPAによる関税撤廃措置を通じた、我が国農林水産物・食品の更なる輸出拡大が期待される。
- また我が国のEPAとして初めてハラール分野の協力が条文化され、我が国の高級ハラール食品の輸出拡大が期待される。

## 日本からUAEへの輸出

### 輸出重点品目の多くで関税撤廃

- 清涼飲料水(5%、3-10年間で撤廃)
- 牛肉(冷凍)(5%、即時-10年間で撤廃)※牛肉(冷蔵)は無税
- ソース混合調味料(例:マヨネーズ)(5%、7年間で撤廃)
- 味噌・醤油(5%、5-7年間で撤廃)
- パックご飯(5%、即時で撤廃)
- ぶり・たい(5%、5-7年間で撤廃)
- ホタテ(5%、5-10年間で撤廃)
- かんしょ(5%、7年間で撤廃)
- 菓子類(5%、即時-10年間で撤廃)
- 鶏肉(5%、即時-3年間で撤廃)

※コメ、多くの青果物(りんご、みかん等)、緑茶、紅茶、米粉、錦鯉等は従前から関税が無税

## UAEから日本への輸入

### 重要五品目等のセンシティブ品目は全て関税撤廃から除外

- 除外:米麦、米麦調製品、乳製品、牛肉、豚肉、砂糖、でん粉、まぐろ・かつお、水産IQ品目、ばれいしょ等
- 関税割当:天然はちみつ  
【割当数量】5トン(11年目)【枠内税率】即時12.8%(現行税率25.5%)
- 関税撤廃(即時~15年間):  
えび、香辛料(サフラン等)、パーム油等

## ルールの整備

- 税関手続では通関時間の迅速化を明記(原則48時間以内、特に生鮮食品・急送便の6時間以内の期限を設定)
- 味噌・醤油等の加工事業者が輸出に利用しやすいように原産地規則を設定。
- ハラール分野の協力の条文化により、情報交換の機会を獲得。

# UAE(アラブ首長国連邦)との農林水産物品貿易

○人口:約1,064万人(2023年)

○GDP:約5,141億ドル

(うち、農林水産業36億ドル)(2023年)

○1人当たりGDP:約48,311ドル(2023年)

○宗教:イスラム教



出典:国連統計

○国土の大部分が砂漠地帯であるが、オマーンとの国境沿い山岳地帯に水源とするオアシスが各地にある。

○農産物は主になつめやし(デーツ)、きゅうり、トマト、なすなどの野菜等を生産。加工食品も多く製造。

○日本は清涼飲料水、牛肉、調味料等を輸出。また、紅茶、いか、チョコレート菓子等を輸入。

## <輸出>【日本→UAE】

農林水産品計:101億円(2024年)

順位	品目	輸出額(百万円)(2024年)	関税率
1	清涼飲料水	1590.2	5%
2	牛肉	965.4	冷蔵:無税 冷凍:5%
3	ソース混合調味料	847.3	5%
4	菓子(米菓を除く)	427.8	5%
5	かつお・まぐろ類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	376.0	5%

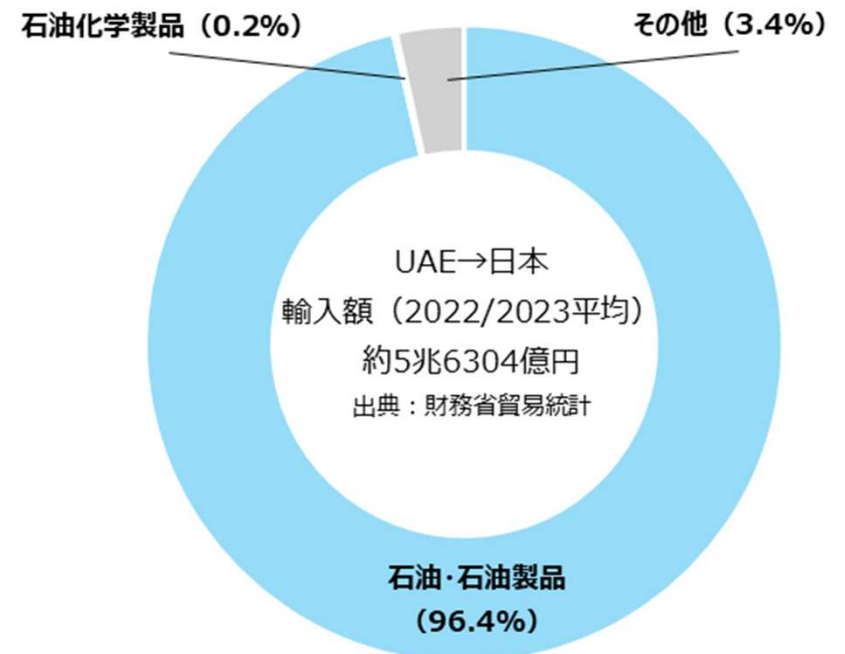
## <輸入>【UAE→日本】

農林水産品計:16億円(2024年)

順位	品目	輸入額(百万円)(2024年)	関税率
1	紅茶	176.9	3% or 12%
2	チョコレート菓子	157.2	10%
3	スパゲッティ	151.9	30円/kg
4	生鮮・乾燥果実 (なつめやしの実等)	98.8	無税-32%
5	たばこ	75.8	無税-29.8%

出典:財務省「貿易統計」

## (参考)UAEからの輸入総額



出典:財務省貿易統計